

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (北海道)	良くなる	観光名所（従業員）	・新たに定期航空便開設が決まるなど、外国人観光客の入込が勢いを増すことが期待できる。また、大規模コンベンションホールのオープンを抑えていることから、スポーツ、コンベンション観光が期待できるなど、今後に向けてのプラス要素が目立つ。
		住宅販売会社（経営者）	・より一層の株高が進むことで、高額消費が活発になり、設備投資、住宅投資にもお金が回ってくることを期待できる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・観光関連に限ってみると、ホテル、飲食店などはオンシーズンを迎えることになり、予約状況から前年を上回る期待感を持っている。
		商店街（代表者）	・今までは気持ちの面だけが上向いている状況であったが、これから実質的な内容がともなっていくことが期待できる。
		商店街（代表者）	・一般消費が微増ながらも増えており、今後も良い状態で推移する。また、補正予算での商品券発行が夏に予定されていることから消費の大幅な拡大が期待できる。外国人観光客も悪い要素がないことから、今後の増加が見込め、観光産業は順調に推移することになる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・現政権の経済対策の効果が当地にも表れてくることを期待している。
		百貨店（売場主任）	・例年よりも気温の上昇が早いため、夏物に対する購買行動が期待できる。外国人観光客の下支えもさらに拡大することになる。
		百貨店（販売促進担当）	・春から夏にかけて気温が高めに推移するとの予想があるため、春夏衣料を中心に購買行動がますます活発になる。また、外国人観光客による売上の拡大傾向が依然として続いており、景気を押し上げる要因となる。
		スーパー（店長）	・前年の売上が大きく減少した面もあるが、消費税増税から1年が過ぎ、毎日の売上が前年を少しずつ上回り始めてきているため、今後の売上増加が期待できる。
		スーパー（店長）	・前年の夏商戦は、消費税増税により化粧品、携帯電話、生活家電、婦人衣料、紳士衣料への影響が大きく、大幅なダウンとなったが、今年はその反動増が期待できる。
		スーパー（役員）	・外国人観光客の増加、北海道新幹線の開業準備などにより、全体的に消費が活発になってきている。
		コンビニ（エリア担当）	・4月後半からの動きをみると、徐々に来客数が回復傾向にあるため、販売施策をうまく進めることで売上回復につながる。
		コンビニ（店長）	・5月からカウンタードーナツの販売をスタートするため、先行販売店の販売動向から1日当たり2万円程度の売上アップが見込める。
		乗用車販売店（従業員）	・来客数などが上向き傾向にあるため、今後に期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・景気がなかなか上向いてこないなか、春先の需要からは販売がスムーズにいったいないという難しい部分もあるが、これから新型車が出てくるため、今後については期待している。
		スナック（経営者）	・政治の動きが良くなったお陰なのか、全体的に景気が上向いてきている。売上も来客数も減ることがなく、少しずつ良くなってきているため、今後についても良くなる。
		旅行代理店（従業員）	・学会開催などにより、団体需要が引き続き堅調に推移している。6月から羽田便の供給座席数も増加することから、外国人観光客の需要が増加することも期待できる。
		旅行代理店（従業員）	・ゴールデンウィークを過ぎると、夏休みや9月の大型連休の需要の申込が本格的に動き出すため、劇的ではないまでも、一定程度の回復の兆しが見えてくる。
		タクシー運転手	・これからゴールデンウィークや夏休みにかけて、観光客の入込に期待できるため、やや良くなる。
タクシー運転手	・統一地方選挙が終了したことで、顧客の外出機会が増えることになる。		
美容室（経営者）	・多少価格が高くても、品質の良い商材であれば買うといった傾向が出てきているため、今後についてはやや良くなる。実際に新商品の売上が予想以上に伸びている。		
その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・例年と同様に、観光最盛期に向けて輸送量が大幅に増加することになる。		

変わらない

商店街（代表者）	・物価上昇に賃金が追いついていないことに加えて、社会保障費などの負担増、年金の減額などの影響もあり、来客数、客単価ともに伸び悩んでいる。客の財布のひもが一層固くなっている様子がうかがえる。
商店街（代表者）	・2～3か月後はゴールデンウィークの翌月、翌々月となるため、地域住民の来街は小さな谷間状態に入り、やや減少するとみられるが、外国人を含めた観光客やビジネス客が増加するとみられるため、交通、宿泊、飲食、土産物などの売上アップが期待できる。
一般小売店〔酒〕（経営者）	・4月は良くも悪くもないという売上であったが、これから観光シーズンを迎えるため、観光客の入込が増えることになる。ただ、こうした動きは毎年のものであり、特に今年に限ったことではないため、当分は現在の状況が続く。
百貨店（売場主任）	・長期予報によると、これから3か月はほぼ前年並みの天候で推移するとみられるため、夏物に動きが出てくることが期待できる。ただし、毎月、集客動員の催事を実施しているなかで、来客数が前年とほとんど変わらない状況にあるため、中元商戦のギフトの動きはさらに厳しくなる。
百貨店（売場主任）	・まだまだ足元の景気には予断を許さない状況が垣間みられるため、今後も変わらないまま推移する。
百貨店（販売促進担当）	・各種数値において、前年比や前々年比はともかく、絶対的な実績水準を確保できない状態になっているため、今後も変わらないまま推移する。
スーパー（企画担当）	・「チョイ高」「プチぜいたく」商戦の優位性が新聞やテレビで報道されているが、店頭価格の引下げセールに対する客の反応が相変わらず根強く、価格を下げた商材の売上が突出するなど、低価格の訴求度が高いことから、客の財布のひもが緩む様子がみられず、今後も変わらないまま推移する。
スーパー（役員）	・地方創生の一環で各自治体が10%～30%のプレミアム付商品券を発行することになるものの、消費拡大につながるかは不明である。全体的に消費が伸びてきている印象はあるが、ローカル地域においては人口減少の影響が徐々に表れてきている状況にある。
コンビニ（エリア担当）	・消費税増税から1年が経過したことで、一部の商材では好転がみられるものの、増税前の前々年との比較ではマイナスとなっている。消費者の生活防衛にともない、ディスカウントストアに客が取られている。
コンビニ（エリア担当）	・来客数回復の動きの弱い状態が続いている。前年の消費税増税後のたばこの販売量減少の影響がなくなると、そのまま前年を下回る弱い状態に戻る可能性がある。これから夏に向けて天候の良い状態が続いたり、高速道路の延長にともなう観光客の増加といった見込みがない限り、厳しい状況が続く。
コンビニ（エリア担当）	・今後も増税などが控えているなかで、消費の動きは変わらない。当地のホテルでは団体客もみられない。
衣料品専門店（店員）	・イベントを実施しても顧客の来店が少ないため、今後も厳しいまま変わらない。
家電量販店（店員）	・5月は行楽に足が向くため、来店数が苦戦する。
乗用車販売店（経営者）	・当地区の新車登録台数が前年比で2けたの増加となったことから、当面はこの水準で推移する。
乗用車販売店（役員）	・新型車が出て販売量が上向いてこない状態にあるため、今後も大きな変化はみられない。
自動車備品販売店（店長）	・1月以降、来客数が前年と変わらない状況にあるため、今後も来客数の回復が見込めず、現状維持の状態が続く。
その他専門店〔造花〕（店長）	・北海道において景気を上向かせるような政策が特にみられないため、今後も変わらない。
高級レストラン（経営者）	・特別、景気が上向くような材料はない。今後、観光シーズンに入ることで景気の良い状態にはなるが、こうした状態が1年通して続くかは分からない。
高級レストラン（スタッフ）	・外食産業には多少の追い風がみられるが、高級店への恩恵は少ない。低単価はどうしようもないが、せめて来客数だけでも景気回復することを期待したい。
高級レストラン（スタッフ）	・高速道路の延長により、当地域への流入が増加することを期待していたが、ほかの交通機関の利用客数が減少しているため、全体としては変わらないまま推移する。
スナック（経営者）	・良くなる兆しがみえない。
観光型ホテル（スタッフ）	・イベントや学会の催行が低調で前年を下回っており、そのマイナス分を中国からのLCCを使った観光客で補てんする形となっているため、今後も変わらないまま推移する。
観光型ホテル（役員）	・月によるばらつきはあるが、先行予約状況が好調を維持しているため、今後も好調を維持したまま推移する。

	旅行代理店（従業員）	・先行数値をみても、前年と比較して景気が上向いているとは思えないため、今後も変わらないまま推移する。
	旅行代理店（従業員）	・季節が春の陽気になったせいか、来客数が増え始めている。
	タクシー運転手	・これから観光シーズンを迎えるが、外国人観光客によるタクシー利用はまだ少ないため、4月のタクシー利用状況から判断して前年並みで推移する。
	タクシー運転手	・現在の予約状況を見ると、前年並みで推移している。今後、大きな要因となるような材料もないため、変わらないまま推移する。
	観光名所（職員）	・周囲の企業や人の流れなどから、景気が上向いている感触は得られないため、北海道の景気が回復するまで、まだまだ時間がかかる。
	パチンコ店（役員）	・現状、ガソリンの価格が低下しているが、食料品などの価格が上がっているため、今後も客の買い控えがこのまま続く。北海道は観光関連や建設業の景気が上向きのようなのだが、それだけでは地域全体の景気は回復しない。
	住宅販売会社（役員）	・今後も建築価格が上昇するとみられ、それにとまって分譲マンションの販売価格も値上げせざるをえないが、すでに客が購入可能な価格の上限に限りなく近づいている。マンションデベロッパーは販売価格を慎重に決めているが、手探りの状態となってきた。
	やや悪くなる	乗用車販売店（従業員） ・これから販売量が少なくなる時期であり、大きな起爆剤もないため、変わらない。 その他専門店〔医薬品〕（経営者） ・保険の利がない一般薬局の環境は、今後、さらに厳しくなる。健康情報を発信する程度では生き残りは難しい。 タクシー運転手 ・地域の人口減少に加えて、高齢化の進展により、客自体が減少しているため、今後についてはやや悪くなる。
	悪くなる	
	良くなる	
企業 動向 関連 (北海道)	やや良くなる	建設業（経営者） ・まだ一部だが工事が動き始めるため、やや良くなる。公共工事については補正予算がない分、前年の2割減が予想され、競争が厳しくなる。民間の建築工事については前年並みが見込まれる。 建設業（従業員） ・建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づき耐震診断した大規模建築物について、補強工事に対する補助制度の見通しが示されたため、設計や工事の引き合いが増え始めている。 金融業（企画担当） ・個人消費は消費税増税の影響が薄れること、低い伸びながらも賞与の増加や賃上げが見込まれることから、やや上向き。観光関連は円安により外国人のほか、国内観光客の増加が見込まれる。設備投資は北海道新幹線開業を控えた道南、大型再開発事業の着工が進む札幌市内で需要が堅調に推移する。 その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当） ・2～3か月先までは建設需要の増加が見込まれる。ただ、秋口からはまた減少することが懸念される。
	変わらない	輸送業（営業担当） ・3月末に高速道路が当管内まで延長されたことにより、道央までの利便性が高まったことで、都市間高速バスや港を利用する本州間の貨物が増加しており、好影響が出ている。 輸送業（支店長） ・北海道内では大型建築物の動向がすでに決まっており、夏場までの資材の生産などが見込まれるものの、期待されるほどの物量を抱えている荷主は少ないことから、変わらないまま推移する。 通信業（営業担当） ・今後の販売予測が堅調であり、単価も下げ止まりから反転して上昇に転じていることから、今後の景況感としてはやや良い状況が続く。 司法書士 ・時期的に多少の景気回復が望めるものの、依然として厳しい状況は続く。 コピーサービス業（従業員） ・取引先の動向が慎重になっていることから、今後も慎重な姿勢は継続する。 その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長） ・景気が上向くような要素が見当たらない。 その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当） ・4月は例年よりも雪解けが早かったという季節的な変動要因により、前年よりも売上の良い状態であったが、5月以降は例年並みに戻ることになる。
	やや悪くなる	食料品製造業（従業員） ・現在、値上げ交渉を進めている最中であるため、2～3か月先の販売量が減少することが懸念される。 家具製造業（経営者） ・若干過熱気味の大都市、大企業の景況が調整期を迎えそうのため、今後についてはやや悪くなる。

		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・例年、年度が替わった当初は受注が停滞することになる。さらに、前年の売上がそこそこ良かっただけに、年度が替わって今期はどうなるのだろうという不安から、当面、様子見が強まりそうな気配がある。前年を上回るような新たな刺激策も、良くなりそうな気配も全くないことから、今後についてはやや悪くなる。
	悪くなる	その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員） 司法書士	・設備機械の納入が一段落する一方で、消耗資材や機械工具関連の今後の売上が期待できないことから、やや悪くなる。 ・本格的な景気回復に向けての対応策が出てこない限り、景気回復よりも景気悪化になりかねない。
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・賃上げやガソリン価格の低下、観光シーズンの本格化など、個人消費に明るさがみられるため、今後の雇用動向も良くなることが期待される。
(北海道)	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・雪解けにともない、建設関連が動き出し、求人が増えることが見込まれる。また、業績拡大に向けて、販売や営業の求人が増えており、企業活動のスピードが速まるが見込まれる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・人出不足の影響はあるものの、求人の依頼件数が増加傾向にあるなど、企業の求人意欲がおう盛なことから、今後についてはやや良くなる。
		職業安定所（職員）	・1～3月の新規求職者数が前年に比べて減少している一方で、新規求人倍率が上昇していることから、今後についてはやや良くなる。
		職業安定所（職員）	・求人数の増加傾向が継続しているため、今後についてはやや良くなる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・ガソリン価格を含め、日常生活に必要な商材の価格が比較的安定してきているため、若干ではあるが消費意欲が高まり、それに伴い雇用環境も良くなる。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人件数は高い水準にあるが、ここ数か月、前年比で大きな変動はみられないため、今後も数か月は現在の状態で推移する。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・雇用ニーズはあるが、求職者数が減少しているため、企業においては若年層だけではなく、中高年や主婦も積極的に雇用することが求められているが、企業側の待遇改善が進まない限り、雇用につながらない。
		職業安定所（職員）	・北海道新幹線開業に向けて、観光業などでは盛り上がりが見られるが、全体的な影響がまだはっきりとしないため、今後も変わらない。
		職業安定所（職員）	・月間有効求職者の減少幅が2月から3月にかけて縮小傾向にあるのに対して、月間有効求人数は前年を10%以上上回って推移していることから、今後も変わらないまま推移する。
	やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・この数か月、前年割れが続いており、この傾向が当面続くことが懸念される。
	悪くなる	-	-